

- 問1 日本の気候区分のうち、周囲を高い山々に囲まれた盆地で見られる、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい気候を何といい
ますか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 日本海側の気候 2. 太平洋側の気候 3. 中央高地の気候 4. 瀬戸内の気候
- 問2 ある県の工業統計を確認すると、製造品出荷額において「輸送用機械器具」が26兆円を超え、圧倒的な規模を誇っています。この県に関する説
明として正しいものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 内陸部に位置し、涼しい気候を利用した野菜・果実栽培が盛んな長野県である。 2. 中京工業地帯の中核に位置し、自動車の生産額が非常に多い愛知県である。 3. 日本海側に位置し、米の産出額が農業全体の約6割を占める新潟県である。 4. 京浜工業地帯の一部をなし、精密機械の出荷額が国内最大級である長野県である。
- 問3 中部地方の各県の工業出荷額の内訳をまとめた統計において、輸送用機械の割合が極めて高い愛知県や静岡県に対し、食料品、化学工業、電子
部品・デバイス工業などがバランスよく含まれていることが特徴である県はどこですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 石川県 2. 長野県 3. 福井県 4. 富山県
- 問4 豊橋市の農業は、生産した農作物を新鮮な状態で大都市へ出荷できるという利点を持っています。このような農業が発展した背景にある、地理
的な交通条件についての説明として正しいものを選んでください。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 冷涼な高冷地の気候を活かし、他の地域が生産できない夏場に供給できるため 2. 国際貿易港が隣接しており、航空機を利用した海外への鮮度保持輸送が可能のため 3. 広大な干拓地を活かして大規模な自動化農場を建設し、生産コストを抑えたため 4. 東名高速道路のインターチェンジが近く、大都市へ迅速にトラック輸送できるため
- 問5 フォッサマグナが日本の自然環境において果たしている役割や特徴について、地質的な観点から述べた説明として正しいものを選択してくださ
い。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 古生代の非常に古い岩盤が地表に露出した地域であり、日本列島の中で最も地盤が安定している場所である。 2. 季節風を遮る巨大な壁のような役割を果たしており、日本海側と太平洋側の気候を明確に分ける主因となっている。 3. 本州の地質構造を東西で分断する境界となっており、この地帯を境に地形や地層の成り立ちが大きく異なっている。 4. プレート沈み込みによって形成された細長い海溝であり、現在も海底において活発な地殻変動が続いている。
- 問6 中部地方に位置する、ある県の産業と地理的特徴について述べた文として正しいものはどれですか。なお、この県は、県内の鉄道営業距離が295
km、県庁所在地の人口が約27万人という統計資料が得られる地域です。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 立山連峰を望む富山湾に面しており、豊富な水資源を利用したアルミニウム工業が発達している。 2. 兼六園に代表される歴史的な景観を持ち、金箔や漆器などの伝統工芸品の製造が盛んである。 3. 日本最大の砂丘である鳥取砂丘があり、梨の栽培などの農業が平野部で盛んに行われている。 4. 若狭湾に見られるようなリアス海岸の地形を有し、眼鏡フレームの生産が盛んな平野部を持つ。
- 問7 四日市市などの工業都市を擁する三重県の工業的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 輸送用機械や化学、石油・石炭製品などの重化学工業が中心となって発展している。 2. 高度な技術を要する印刷業が、重化学工業の出荷額を上回る規模で成長している。 3. 出荷額において、パンや清涼飲料水などの食料品工業が最大の割合を占めている。 4. 伝統的な繊維工業が、現在でも県全体の工業出荷額の過半数を占めている。
- 問8 ある都道府県の産業について、農業産出額では米の産出額に比べて野菜の産出額が約3倍と高く、イチゴなどの栽培が盛んである一方、製造品
出荷額等が約17兆円にのぼり、工業が極めて盛んであるという特色を持つ県を選んでください。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 静岡県 2. 新潟県 3. 北海道 4. 宮崎県
- 問9 中部地方の中でも日本海側に面する北陸地方の4県（新潟県、富山県、石川県、福井県）のうち、県庁所在地の名称が県名と一致せず、金沢市と
なっている県を選びなさい。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 石川県 2. 新潟県 3. 富山県 4. 福井県
- 問10 渥美半島で盛んに行われている「電照菊」の栽培について、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試
類似)
1. 夜間に人工的な光を当てることで、植物の性質を利用して開花時期を遅らせる抑制栽培を行っている。 2. 夜間に人工的な光を当てることで、ビニールハウス内の温度を高め、成長を早める促成栽培を行っている。 3. 夜間に強い光を当てることで、害虫の活動を抑え、農薬を使用せずに生産する環境保全型農業を行っている。 4. 夜間に光を当てることで、日照時間を長くし、夏にしか育たない熱帯性の果実を冬に収穫している。
- 問11 愛知県の工業の特色について、製造品出荷額の構成比のデータから読み取れる傾向として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 鳥取県公立入試
類似)
1. 広大な農地を背景に、食料品工業が製造品出荷額の第1位を占めている。 2. 特定の産業に偏ることなく、金属、機械、繊維などがバランスよく生産されている。 3. 自動車を中心とした輸送用機械の割合が圧倒的に高く、出荷額全体の5割を超えている。 4. 石油・石炭製品や化学工業といった重化学工業の割合が最も高く、臨海部にコンビナートが形成されている。
- 問12 新潟県、山梨県、長野県の農業産出額の統計において、各県で最も産出額が多い作物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年
奈良県公立入試 類似)
1. 新潟県：果実、山梨県：野菜、長野県：米 2. 新潟県：米、山梨県：野菜、長野県：果実 3. 新潟県：野菜、山梨県：米、長野県：果実 4. 新潟県：米、山梨県：果実、長野県：野菜
- 問13 中部地方の太平洋沿岸部で行われている、温室やビニールハウスを活用した「施設園芸農業」の利点について、その背景や目的を説明した文と
して最も適切なものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 自然環境の影響を抑え、気温や湿度を管理することで、季節を問わず計画的に作物を生産・出荷できる。 2. 大消費地に近い立地を活かして、収穫したばかりの鮮度が高い野菜を、輸送コストを抑えて市場へ届けることができる。 3. 広大な土地に大規模な機械を導入することで、土地の単位面積あたりの収穫量を増やし、穀物を大量生産できる。 4. 高冷地の冷涼な夏の気候を活かして、他の地域よりも収穫の時期をあえて遅らせることで、競合を避けて高い価格で販売できる。